

3・11 を忘れない！ 原発ゼロの実現へ！

第3回福島原発事故避難者・移住者健診(3/10)

福島の子どもたち香川においてプロジェクトの要請を受けて、3月10日(土)の午後、7年前の福島第一原発事故による避難者・移住者の健診を行いました。香川民医連としては、今回3回目の取り組みです。

今回は3歳から15歳の19名(8家族)が受診しました。へいわこどもクリニックで受付、採血、診察を行い、高松平和病院で心電図、甲状腺エコーを行いました。

アンケートでは、毎年定期的に行って欲しいという声が多く、特に甲状腺の異常を心配する親御さんが多いです。実際に子どもの甲状腺がんが増えてい



るというデータもあるので、私たちは避難者・移住者のからだところの健康を守る立場で健診の要求に応える必要があったと感じました。

この日は検査だけで、結果は後日郵送となります。家族同士は顔見知りのようでしたが、ほんとに検査だけで帰ってもらったので、これでよかったのかなと担当した者の実感としてあります。

他県連では総会方針にある通り、継続して健診に取り組んでいるところもある中、香川民医連として方針を持って取り組まなければならない課題です。

(へいわこどもクリニック 川田晴美)

事故から7年・福島連帯・原発ゼロ四電前デモ(3/9)



原発事故から7年目を迎えた3月9日(金)夕方、香川民医連も参加する原発をなくす香川の会による福島連帯・原発ゼロアピールデモ行動が行われ、40名が参加。参加者は、四国電力本社周辺をデモ行進しました。

リレートークの中で参加者からは、「原発事故で瀬戸内海に汚染水が流れ込んだら、すべての生活が成り立たなくなる」「私には孫がいる。原発が氾濫している日本を次の世代に渡すわけにはいかない」など原発ゼロへの思いが語られました。

